



次の世代に豊かな「海」を バトンタッチするため



にかほ市で漁業に従事する若者の活躍が近年メディア等で盛んに取り上げられています。都内の水産会社を経て、地元象潟地域で定置網漁業に就く佐々木一成さん。金浦地域で18歳から漁師の父のもとで働き若く26歳で船長になった、底引き網漁では秋田県最年少船長である佐藤栄治郎さん。新春号ミニ特集第5弾は、2人に活動の状況や漁業の抱える課題、今後の展望について話していただきました。

漁業の新たな取り組みについて

栄 若い漁師を増やしたいという思いから漁業体験、漁師体験を行っています。まずは体験をとおして興味関心を持ってもらい、自分でもやれそうだな、漁師になってみたいなどと思ってもらえればと考えています。体験がきっかけで現在2人が新たに漁業に従事していて、うち1人は市外からの移住者です。また(株)JALとポケットマルシェ(全国の農家・漁師と直接やり取りをしながら食材を買えるオンライン市場サービス)の共同事業の一環で大学生のインターンシップの受け入れもしています。

栄 そうです！魚が獲れるところを TikTok に投稿したらバズって、ありがたいことに現在21万人の方にフォロワーいただいています。漁業って知られていないことが多くて閉鎖的な感じがしていたので、漁業を知っ

てほしい、漁の楽しさ、たくさん獲れた時の喜びを伝えたい、何より「もつと漁師を身近に感じてもらいたい」、そういう思いから漁業体験やSNSなどの活動を始めました。

一 自分は各種SNSのほか、YouTubeに漁の様子や魚のさばき方についての動画を投稿したり、ポケットマルシェへの出品などを行っています。自分も漁師の知名度の低さは常々感じていて、例えば自分が漁師だと名乗ると、「え、美容師？」って聞き返されたことがあったりして。また、ポケットマルシェで魚を買ってくれた人とやり取りをしていると、魚のさばき方、食べ方が分からないという方が多くて、それでさばき方を教えたり、自分のYouTubeのリンクを送ったらとても感謝されて。そうしたところから日本人の「魚離れ」を強く感じていました。魚のさばき方って動画だけでは分からない、実際

Tubeの編集作業もするのは結構大変で、頻繁に更新できないのが悩みです。

栄 自分一人で撮影から編集までやるのは本当に大変ですよ。漁業が抱える課題と今後の展望

漁業が抱える課題と今後の展望

栄 やはり漁業従事者に若い人がいないことと、魚の消費量が落ちている事が現状の課題だと思います。そのために水産加工品販売、自分で獲った魚を自分で加工して消費者に食べてもらう、6次産業化を目指しています。例えば干物とか、真空パックにして解凍したらすぐに食べられるようなものを作りたいと思っています。使うのはもちろん地物です。そうしてこちらから消費を促すことができればいいと思っています。自分の獲った魚が高く売れる、そうなることで漁業がやりのある、魅力のある仕事になり、いずれば担い手の増加にも繋がると思っています。

一 漁業全体で言えば魚が取れなくなってきたるので、国単位での資源管理が重要だと思います。卵を産む親魚をいかに増やしていくかが大事だと思うので、国や県など行政と一緒にやって意見交換ができればと思います。

にやってみないと分からないところがあると思うんですけど、それで実際にやれる場所や機会ってあるのか調べてみたら無くて。だから定期的に魚のさばき方教室を開催しています。子どもたちと一緒に教室をや

るととても興味津々なんです。以前教室に参加して自分でさばいたことで、刺身を食べなかつた子が食べられるようになったという嬉しい声もいただいています。

活動中の成功体験・難しくかったこと・印象に残ったこと

栄 やはり漁師体験をしてください。自らの魚のさばき方教室活動をとおして見えてきた課題としては、やはり家で生の魚をさばくのは大変でハードルが高い、だから食べるハードルも高いということ。そのためには教室だけでなく、自分も栄治郎君と同じく加工品を作るということを考えています。まず魚を食べるハードルを下げ、食卓に魚が並び頻度を上げる。美味しい魚を食べるとやっぱり嬉しいじゃないですか。そうして食卓で家族の会話も増えてみんなハッピーな気分になれる。それが理想だと思っています。

最終的な目標について

一 栄治郎君は若い漁師の担い手を増やしたいという思いから、漁師ってとても楽しいということを発信してくれていると思います。自分は魚をもっと食べてもらいたい、美味しく食べてもらいたいと思って活動しています。これって目的は違うように見えるかもしれませんが、最終



佐藤 栄治郎さん



佐々木 一成さん

的な目標は一緒なんだよね。栄 「にかほ市を盛り上げたい」ってことです。

一 漁業だけでなく最終的にはにかほ市全体を盛り上げて次の世代に豊かな海をバトンタッチできればと思います。